

ヴォックス音楽吟詠会

創立三十周年記念誌

ヴォックス音楽吟詠会総本部



◇遺訓◇ ヴォックスの芸術吟詠で、人の心に息吹を与え、

荒廃した人心を詩吟の魂で生き返らせた

ヴォックス音楽吟詠会 創立後途中改称) 創立者

南雲 一廣先生のプロフィール 代表作・親父の海 (編曲)・津軽じょんがら流れ唄 (編曲)

昭和八年八月 栃木県宇都宮市川向町に生まれる。宇都宮商業高校を経て、明治大学に入学―中退、在学中マンドリンほか音楽関係に興味を持ち、古賀先生に作曲、編曲の指導を受け、コロムビアの専属作曲家となる。新人歌手―扇ひろ子・高田美和・木村友衛などの養成し、「全国大衆音楽家協会」設立に貢献。邦楽についても、コロムビア時代の人脈実績を生かし、吟詠音楽普及に力を注いだ。昭和五十二年、ヴォックスレコード音楽出版会社を設立、ヴォックスレコード吟詠会会長に就任、本格的に吟詠音楽普及に乗り出す。全国吟詠家に南雲イズムを浸透させた功績は計り知れない。

ヴォックスの詩 三宅正洲

道を求めて交を結ぶ 好儔多し

切磋す聲曲 楽しみ油油

知新温故 真訣を追い

紹と欲す詩文の 千載に優なるを

第一回 平成二十二年度

総会並びに

創立三十周年 祝賀会 第

一、総会

開会宣言

黙 君が代斉唱 禱

会 詩合吟

会 長挨拶

議 表 彰 式 事

表 彰 式

閉会宣言

二、祝賀会

開会のことば

事務総長挨拶

知立文楽

祝吟・祝舞

乾 親 杯

懇 親 会

閉会のことば

万歳三唱

国指定重要無形民俗文化財

祝吟・祝舞 プログラム

地区本部代表者

一・祝賀の詞

河野天顛

信越

吟

片倉清風

二・宝 船

藤野君山

近畿

吟

森脇一天翔

三・日本刀

大鳥圭介

神奈川

吟

須藤元光

四・桜花の詞

逸 名

播磨

吟

田中峰翔

舞

笹山凜操

五・本能寺

頼山陽

東京

吟

多田羅心龍

渡辺凜鏡

加藤心皇
伊藤晃峰

六・祇園精舎 平家物語から

群馬 剣舞

柚木 荘香

七・弘道館に梅花を賞す

徳川景山

北関東 吟

生天目輝風

山口 憑風

八・日本古謡 さくら 宝 船

中部 吟

長谷川桂楓・坂井薫斎・草薙麗堂

舞 森 聲華・高木豊葉・井川園楓
多和田久美容
佐藤聖陽



第一回総会

ヴォックス音楽吟詠会会則改定に伴い、旧執行部会に代り総会を開催する。

創立三十周年記念行事

ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年を記念して、業績を顧みると共に、時代における大きな節目と認識し、今後更なる健全な発展を期して、次の通り記念祝賀会を開催する。

一、名称 ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年記念祝賀会

二、開催期日 平成二十二年三月五日 金 午後二時

三、開催場所 名古屋クラウンホテル

表彰基準

一、ヴォックス音楽吟詠会正会員が次の各号の一に該当した時は

これを表彰する。

A 特別功労賞―副会長・事務総長・地区本部長・顧問・相談役の任にある者及び特別功労の認められる者。

B 永年功労賞―正会員で平成二十年までに入会した者。

C 感謝状―在籍十年未満の会員で平成二十年までに入会した者。



名誉会長

相談役

清水源翁

此の十年を顧みて

平成十一年の秋、創立二十周年の記念祝賀会を終え、もう今年三十周年という。執行部に席を置いて、この十年の変遷を顧みれば、平成十九年に南雲一廣会長のご逝去、続いて大井清・妻木正麟両顧問の重鎮をおくり、執行部の僚友をも失い、悲しみに過ぎていった思いが致します。

南雲会長生前、承諾を頂いた東京地区本部長・岩淵公胤先生の会長就任、中部地区本部長兼副会長・草薙典龍先生の事務総長就任、それに伴う執行部の中部地区移行と、十年の歳月は瞬く間に過ぎ去った感が致します。中部地区は、優秀な多くの先生方を抱えております。草薙先生の知識と実行力を以てすれば、ヴォックス音楽吟詠会も前途洋々であります。船出を見守り応援致したいと心にお誓い申し上げます。創立三十周年を共に祝し、諸先生方のご健勝を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉と致します。



ご挨拶

会長 岩渕公胤

梅花馥郁と咲き匂うこの佳き日、ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年記念祝賀会が、名古屋クラウンホテルに於いて開催されます事は、誠に喜ばしく意義のあることです。

故南雲一廣先生の「流派の持つ素晴らしい持ち味を活かして、束縛の無い真の芸術吟詠で、人の心に息吹を与えて、荒廃した人心を詩吟の魂で生き返らせたい」という信条のもと、昭和五十四年九月、ヴォックス吟詠会創立。私こと、三年目より東京地区本部長を拝命、そして平成十九年三月二日、全国執行部会に於いて会長という重責を戴き、現在に至っております。あっといふ間の三十年、正に「光陰矢の如し」を申しましようか……その間、偉大な南雲一廣先生の如し、

平成十九年五月二十五日ご逝去、著名な常任顧問であられた大井清先生又妻木正麟先生と相次いで黄泉へと旅立たれました。亦故人となられた三宅正洲先生始め、沢山の諸先輩の先生に心よりご冥福をお祈り申し上げますと共に、生前に受けた恩徳・ご指導ご鞭撻と併せ、ご厚情に対し改めて感謝と御礼を申し上げます。更にヴォックスの要であった 現名誉会長・相談役) 清水源翁先生には、多大なる

ご指導を賜り深謝申し上げます。平成二十年より、総本部が中部地区へと移行し、本日三十周年記念祝賀会が盛大に開催されました。中部地区本部長・副会長・事務総長で才溢れる好漢で有能な草薙典龍先生を中心に、執行部の皆様のご尽力の御蔭です。感謝申し上げます。更に日頃ご支援ご協力を賜っております全国各地区本部長始め、会員の皆様に厚く厚く御礼申し上げます。

ヴォックス音楽吟詠会は、心豊かな心の温かい人達の集まりであり、人の良い所を認め合い、そして無い所を吸収し合う、思いやりのある素晴らしい団体です。「恥を捨て人に物問い習うべし これぞ上手の基なりける ける 何事も謙虚に聞きたいものです。ヴォックスの明日を信じ、この乱れた世の中、詩吟で浄化したいものです。「イエス・ウィ・キャン」今後とも共にご指導ご鞭撻と併せ、ご支援ご協力を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げますと共に皆様の「ご健勝ご多幸を」ご祈念申し上げます。ご挨拶とさせて戴きます。



ご挨拶

総本部副会長・同事務総長・

中部地区本部長

三十周年の節目に立って 草薙典龍

―「竿挿せど 底ひも知らぬわだずみの
深き心を 君に見るかな」―

私たちのヴォックス創始者、作曲家・南雲一廣先生は、互いに心の触れ合いを第一にして日本真髓の吟詠を愛する同志と大同団結して、「人の心に息吹を与える」「人道即ち吟道」の道を実践され、私達に素晴らしい吟道精神を示されました。

十九年に南雲先生は天国に召され、辛く悲しいお別れでした。しかし南雲先生の精神は、心有る会員によって、「束縛のない流派を超越した南雲イズムの灯を点し続けよう」と結束を新たにしてい、ここに各地区本部が「助け合い・譲り合い・分かち合い」の精神で、結束を誓い、ヴォックス継承が成されたのです。そして新会長に岩淵公胤先生・名誉会長に清水源翁先生・副会長に岡田岳龍先生と本田天水先生、不肖の私が副会長と事務総長の大役を担うことと相成り、また、岩淵会長の英断によって創立以来の東京総本部が中部に移され、心気一転、刷新ヴォックスが出發しました。

先ず、新生中部総本部は、組織を如何にして確立するか、会

員一人ひとりがヴォックス会員である事を認識して頂ける会作りとは何か、を課題として、「規約の改正と会報・会旗・バジの刷新・ホームページの開設」を敢行致しました。

会議について、年一回開催の総会は、会員の声を反映出来るよう全会員が参加できる規約に改めさせて頂きました。

皆様のご協力を頂き乍ら中部総本部も何とか一年目が過ぎ、ここに三十周年の節目を迎えさせて頂くことが出来ました。おそらく南雲先生も天国で見守っておられることと存じます。

この三十周年の歩みでの特筆は、漢詩の故郷、日中国交十年の北京公演で文化庁のご支援を頂き、中国共産党青年団主管の中国政府歓迎交流会を行なったことです。交流会には百五名に及ぶヴォックス会員が招待され、日本吟界に先駆けての日中文化の掛け橋としてヴォックスの名声を響かせました。この実績からフランス・アメリカ・中国南京・揚子江船上吟詠大会等の海外での活躍は真にヴォックスの功績と存じます。レコード吟界にあって全国決勝大会最優秀者の文部科学大臣賞受賞は、この文化事業が認められた大殊勲の証です。さて、故南雲先生の良き相談役であられた故大井清先生・故妻木正麟先生の両雄をはじめ、更には、顧問の作詞家・故大野恵造先生の存在感は、ヴォックスの大切な守り神の忘れ形見です。

私は日本の詩吟は世界に誇れる声楽と評している一人です。古来詩吟は時代を超えて脈々と日本人の心の中に生き続けて、日本人のDNAといっても過言ではないと思います。

詩吟が、社会現象の荒波の中で衰退の道を辿っているのは何故でしょうか、誠に残念の極みです。ヴォックスは日本の真髓の詩吟を未来に継承する使命を担っています。

三十年の節目に立ち、私は会員一人ひとりが手を携えて、南雲遺訓の素晴らしさを実感出来る会作りを目指し、吟界発展の為に貢献して参る所存です。どうか一層のご指導、ご鞭撻を御願ひ申し上げます。



ご挨拶

副会長

近畿地区本部長 岡田岳龍

「三十周年から新しき明日へ」

ヴォックス音楽吟詠会 恒レコード吟詠会)の創立から三十周年、この年月を振り返る時、多くの清廉なる人士吟友との出会いや多くの実りある幸に恵まれた様々を憶い、一吟詠人として一入の感慨と充実感に満たされます。

戦後、日本文化研究所を主宰し吟道の振興にも意を尽くされた大井清先生の勧めで入会した私は、先生が推す南雲一廣会長の人柄と吟詠の会設立への純粹志向に共感し、以来ヴォックス同人の一人として歩んできました。接して親しみやすく穏やかな二面、無類のお酒好きで豪放磊落な南雲先生を語る時、恒例の行事や数度に及ぶ日中。日米・日仏等との親善交流の旅を通じて、無欲恬淡な横顔だけが浮かびますが、私には忘れ得ぬ貴重な想い出の一つを紹介したいと思います。

嘗ての日、作曲家として作詩作曲された作品を「折あれば歌ってみて下さい」と、先生ご自身ピアノの弾き語りによる録音テープを添えて贈って下さり、後日、人間愛溢れるその曲「噫対馬丸」を江戸東京博物館ホールでの名流大会で先生のピアノで歌った思い出が、今も手許にある先生形見のテープに録された、ハスキーな先生の歌声と共に熱く胸に甦ります。平成十九年七月、先生は天国へ旅立たれましたが、相前後して鬼籍に入られ三十年の追憶の中から鮮やかに眼に浮かび心に残る先師、吟友の方々と共に、今三十周年を祝う我々に明日へのヴォックス音楽吟詠会を託し、遙か天上より見守っておられることでしょう。

「流派の持味を活かし、束縛なき芸術吟詠で息吹を与え荒廃した人心を詩吟の魂で生き返らせたい」という創設者南雲一廣先生の信条を継承する会長・岩淵公胤先生は、常々、ヴォックスは心豊かで心温かき人達の集まりだと述べておられますが、私も三十年を顧みて、その通り多くの清廉なる人士吟友に会した喜びを実

感ずるものであり、温かき憶いを胸に同志の皆様と共にヴォックスの明日に向かって歩みたいと思います。



副会長

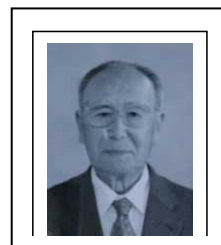
西中国地区本部長 本田天水

祝ヴォックス音楽吟詠会創立30周年

この度、ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年の栄えある年を迎えられ、心からお慶び申し上げます。

顧みますと、ヴォックス音楽吟詠会の三十年前の吟詠会は、詩吟全盛期に始まり、ヴォックス音楽吟詠会独自の審査方法は、斬新さに注目の的となり、特に各地区の審査には、吟詠時間、詩文の読み等は、大好評として受け入れられました。唯、評価に於いては厳しく、レコード各社の地方の予選の練習コンクールとまで言われたものでした。その後南雲先生の熱意は充実に、各社の地方予選（二会場）の出吟者五百六十人と、全国一の大記録樹立となり、その評価は不動のものとなりました。その後、南雲先生の後を引き継がれた岩淵公胤先生は、短期間ながら多様な・複雑化する諸事業に、また、効果的に実施しておられます。全国の特性を活かした活動を展開され、特色ある地方を育み、各地域へのお力添えが不可欠であり、三十周年

を契機になお一層の会員相互の融和と連携を深められるとともに、ヴォックス音楽吟詠会の、更なる発展と会員皆様方の、今後益々のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げます。してお祝いの言葉と致します。



北関東地区本部長

生天目輝風

先人のお導きに感謝

ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年記念祝賀会を盛大に開催することが出来、誠に喜ばしく心からお慶び申し上げます。ヴォックスレコード吟詠会が発足してからの三十年間を顧みますと、感慨無料であります。吟道に対する熱意と誠実で温かな人柄の南雲一廣先生のお考えに共鳴して結集された多くの先生がたは、心から尊敬できる方々でありました。唯、残念なことに南雲先生始め、惜しまれた先生方が、今は故人となつてしまいました。しかし乍ら、その遺志は会長・岩淵公胤先生並びに事務局長・章雍典龍先生を中心とした先生方に受け継がれ、これからも益々発展して行くものと期待しております。ヴォックス音楽吟詠会の最大の魅力は、三宅正洲先生の作詩された「ヴォックスの詩」に表れていると思います。各流派を超越し全国

から選ばれた吟者が集い、伸び伸びした吟詠コンクールが出来る場は他に有りません。ヴォックスレコード吟詠会が誕生した頃は、各種団体の吟詠コンクールに於いて詩文の読み、詩語のアクセントや吟詠時間などについて、機制するようになり、吟者は、それ等に気を取られ、萎縮した吟詠になるきらいがありました。

日本語のアクセントは、言葉も明瞭にするために自然的に発生したもので、標準ではありません（NHKアクセント辞典）。申し上げるまでもなく、漢詩は作者が感じた事柄を法則に従って文字に表したものであり、吟者は之を声（ヴォックス・・・ラテン語）で表現し、聴者に感動を伝えるのが究極の目的だと思えます。そこで吟者は発声の練習と併せて詩文の意味とその背景についても勉強して頂きたいと考えております。「道を求めて交わりを結ぶ、切磋す声曲樂しみ油油」会員の皆様、これからも健康に留意し、切磋琢磨して、ヴォックス音楽吟詠会の維持発展の為に頑張ってください。



ご挨拶

群馬地区本部長

国分国壮

— 祝詞 一首 — 並びに 祝辞

同志ノ吟縁 三十年

感懐ス 辛苦 衛リラルヲ 精堅ヲ

高堂ノ 佳客 如ク 仙鶴ノ

聲調 連綿トシテ 千載ニ傳フ

〔灰起式下平声 一先韻〕

◇十五回のコンクールを実施しました◇

群馬地区本部長・国分国壮

辞書を繙くと、VOXとは声とか音という意味で、ラテン系中南米やギリシヤ等の言葉であるというので、祝詞の中にVOXのことを「声調」と表現しました。

VOXに入会する為には、東京VOXの諸先生と群馬の各流派の諸先生及び門下の会員の皆様による「交流発表会」及び「懇親会」を箕郷町文化会館において実施し、概ね賛同を得ましたので、翌年からコンクールを実施し、本年度で十五回になります。

この十五年間で、退会二会派、入会一会派で、現在正会員十九名で地区の運営をしておりますが、課題の一例は、どの位の会員がコンクールに参加するかであります。

地区の入賞は、なるべく多くするようにしておりますが、参加者は会派人数の三割程度で、これを次年度は四割を目標にしております。

決勝となると二%弱で、全会員のほんの一部というのが頭痛のタネです。

祝辞らしくない一端で恐縮至極です。



御挨拶

信越地区本部長 中山国洲

ヴォックス音楽吟詠会三十周年記念、誠におめでとうござい
ます。

一言に三十年と言われますが、その道程は決して平坦では無かったと思われます。その間、故南雲一廣会長を中心に本部の先生方のご尽力により、今日の発展を見たことに心から敬意を表します。私が四代目の信越地区本部長を引き継ぎましてより三年となります。今日在るも、故吉村初代本部長始め、諸先輩先生方の永年に亘る貢献の賜物と改めて感謝致しております。

孔子の言葉に「道は遠からず、人に遠ければ、道と為すべからず」とあります。吟道という道も正にそのものであり、私達も、自分の身近にある吟道を大切に、日々精進して行きたいと願っております。また、「ヴォックス之詩」の冒頭に、「道を求めて交わりを結ぶ」とありますが、ヴォックス会員の真髓を表現している言葉であると想います。本日を機に、一層の和親躍進を期して参りたいと思えます。

最後になりましたが、岩淵公胤会長を中心に、ヴォックス音楽吟詠会が、益々発展する事を祈念して御祝詞とさせて頂きます。



お祝いの言葉

東京地区本部長・寺橋暁穂

光陰矢のごとし、言い古された言葉ですが、月日の経つのが日増しに早くなってくるような気が致します。弥生の木々が緑に映え、春の足音を感じる好季節に、ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年を迎えられました事、誠におめでとうございます。振り返って見ますと十年前の平成十一年十月三十日、東京新宿の京王プラザホテルに於きまして盛大に創立二十周年記念祝賀会が催された事が昨日のように思い浮びます。短く感じられるような十年間ではありましたが、その間、全会員の心の拠り所でありました南雲一廣会長のご逝去。この訃報に接した全国の会員が如何に失望した事でしょうか。南雲先生のご逝去に伴い、岩淵公胤先生の会長就任と諸々の事情による中部地区への本部移行、更には常任顧問クラスの先生方が亡くなられ、考えようによっては苦難の十年だったかも知れません。しかし、岩淵公胤新会長を中心に草薙典龍副会長を始とする中部地区の先生方のご尽力と全国会員の協力により、その苦節を乗り越え、本日ここ尾張の地に於いて意義ある三十周年記念祝賀会を盛大に開催できます事に絶大なる感謝とお祝辞を申し

述べる次第であります。岩淵公胤前東京地区本部長の会長就任、により、後任の東京地区本部長を仰せつかりました私ですが、今後ともヴォックス音楽吟詠会の更なる発展のため、微力を尽くさせて頂くことを申し上げてお祝いの言葉に代えさせて頂きます。



挨拶

神奈川地区本部長代行・山室瑞山

先賢の教えを継いで

早咲きの桜の便りが聞かれ、また季節が巡って参りました。本日此に、ヴォックス音楽吟詠会創立三十周年記念の祝賀行事が盛会に取り行われますこと誠にありがとうございます。草創から今日に至る永い道程を、常に牽引して下さいました先達の諸先生方に、改めて敬意と感謝を申し上げます。南雲一廣先生はじめ、お姿の見えない先生に想いが及びます。当地区でも、常任顧問で本部長であられた妻木正麟先生が三年前、百二歳で他界され、その後を不肖私が代行を務めさせて頂いております。先生のご生前は、ご存知の通り古武士然として厳しく、その反面慈父の様な方で、硬軟二刀を駆使されて、ヴォックスの信条を説かれるお姿を今直髣髴と想い起こします。

私達は、先生のご意志を継承して神奈川地区を維持して行く、そんな思いで今日取組んでいる処であります。

最後になりますが、ヴォックス音楽吟詠会も新体制となり、岩淵公胤先生を中心に一致協力して吟界に存在感を示し、更なる発展と諸先生方のご健勝をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



ご挨拶

播磨地区事務局長 嶺本賀求道

平成四年、有志七名程と世話人四十人が集まり、吟詠コンクール二百四十八名が出場されて、播磨地区はスタートしました。初年度、創始者・南雲一廣先生が審査委員長で二度、更に地区有志によるレコーディングでも先生に二度の御来駕を仰ぎ、親しく接して戴きましたことは、何よりも有り難く嬉しい限りでした。近畿地区・岡田岳龍先生や東中国の柴田旭旺先生、中部地区・草薙典龍先生にも審査長をお願いし、地区会員達と接して頂きました。詩吟の盛んな関西圏の吟剣詩舞ほかあらゆるレコード会社が主催する行事に囲まれて、ヴォックス音楽吟詠会播磨地区は、確固たる存在を維持しております。

吟詠は、技術を追求するだけの考え方では齟齬が生じると思います。播磨地区は五流派が仲良く親睦を深めながら役員全体で運営し吟詠毎年役員間の親睦会を主催して参りましたが、更に流派間でも出場者の間での疎通が深まっていることに大変有意義であることを痛感しています。和漢の詩や歌を朗詠することは、趣味の世界で最高の存在でしょう。いや、趣味よりも、もっと高い教養の世界で宗教に近いものと思います。私自身、下手ながらも先人の真似をして作詩を楽しむに於いて、この世界に身を置くことの人生最高の喜びを味わせて頂いておりますことに感謝と共に、人と人との間に存在する自己のちっぽけな存在であっても、朗詠の妙味にしばらくすることが出来る幸福をかみ締めております。それなりに苦勞しながら今後共参加者と共にこの道を探求して参りたく思っています。皆様宜しくご指導下さいませ。

「文部科学大臣賞の授与」

ヴォックス音楽吟詠会・吟詠コンクール決勝大会では、毎年、文部科学大臣賞が授与される。このような晴れがましい事が他にあるうか。詩吟の世界で唯一この賞が、ヴォックスには有る。播磨地区では、平成四年にヴォックス入会后、七名受賞しました。私はこの事を「最も大事なこと」と考えまして、予ねてボックス創流の歴史を会員にもっと知らしめたいと願っていた。

総本部が東京から中部に移管された時の会員ニュース 53号に、草薙事務総長が南雲一廣先生との創流当時の経緯や海外(中国)公演の実績が文化庁に認められ、ヴォックス音楽吟詠会・吟詠コンクール決勝大会に文部大臣賞 現在の文部科学大臣賞)を賜る事になったことは、ボックスの特筆すべき事項です。

地区役員間・全国組織との親睦

播磨地区は、発足当初より年に一度親睦会を催してきた。羽合温泉・鳥取砂丘などへ、最近まで一泊で近在保養地を巡り、今年の親睦回は特に打ち解けて役員的心が一つになったように感じる。

一方、全国組織について、私としては非常に有難いことに心も通い違和感のない触れ合いをさせて頂いています。地区役員も総本部や他地区間との接触を良くしたいと願っています。

平成十九年十一月には、名流大会を播磨で開催して頂き、懇親会で全国の先生方との触れ合いは最高でした。

受賞者名簿

特別功勞賞

名譽顧問・相談役

副会長・事務総長・中部地区本部長

副会長・近畿地区本部長

副会長・西中国地区本部長

総本部参与・播磨地区本部長

東京地区本部長

近畿地区本部

清水源翁

草薙典龍

岡田岳龍

本田天水

渡辺賀鏡

寺橋暁穂

後藤国頂

森脇一天翔

佐藤水涛

石井岳粹

北関東地区本部長

生天目輝風

北関東地区副本部長

矢口吟洗

群馬地区本部長

国分国壮

播磨地区本部長

松井賀鶴

播磨地区事務局長

嶠本賀求道

信越地区本部長

中山国洲

西中国地区本部

尾崎煌水

西中国地区本部

杉野晃水

総本部渉外委員・東京地区本部

荒井惠凰

以上。

◇永年功勞賞

東京地区

多田羅心龍・岩渕愛華・伊藤晃峰・加藤心皇・加藤心琴・木村竹峰・清水鈴峰・榛葉芳楓
浜島秀鶯・森山春水・良永央有・川越登風・磯貝岳穂・藤ヶ谷翔静

北関東地区

澤口絃風・栃本蘭風・山口憑風・路川悦風・藤田陽風

中部地区

草薙麗堂・坂井薫斎・河田誠龍・竹村神奎・都筑大鳳・長谷川桂楓・大塚龍伸・森 聲華・
高木豊葉・渡邊伯陽・多和田久美容・井川園楓・小芝誠範・斉藤城鳳・松岡鏡鳳・井川白鳳・高橋藍鳳

近畿地区

松森水隆・岡田桜風・今田岳聡・塩田水勝・北野崖城・場工水司・

信越地区

飯島真道・倉崎鋭道・大野麗道・片倉清風・北原海洲・小林章洲・宮原穂洲・矢澤蚩洲・小林丹風

西中国地区

赤瀬暁声・石本嶺水・村中鷹雲

群馬地区

斎藤要風・池田松領・蛭川龍卯・大熊莊幸・柚木莊香・小暮紫風・中澤松邦・上田莊博・諸田莊秋・
柴崎栄荘・小野里莊孝・西村岳風

神奈川地区

和田洲山・山室瑞山・大津元順・須藤元光・秋山元汀

播磨地区

豊田凜風・清水賀操・石井賀崇石・田中峰翔

◇感 謝 状

東京地区

田中令風・松原輝風・

北関東地区

中村精龍・楡木秀粹・中村峯龍

中部地区

一木翔雲・三ツ谷静楼・谷口神桂・谷口松峰・佐藤聖山・佐藤聖陽・花井静櫻・古海瑛翔・平光薫陽・
川尻里翠山・真野斎錦・大池斎方・高木炎伸

信越地区

笠井雪舟

西中国地区

なし

神奈川地区

妻木元達・和田美山・小野川瑤山

播磨地区

村尾賀鳳村・別府賀雲昌

群馬地区

関勝風・金子功風・斎藤桜富・石田暁風・内藤龍映

以上。

ヴォックス音楽吟詠会 三十年の歩みー1

昭5	9		ヴォックス吟詠会創立	東京・市谷私学会館		50名
55	9	28	第一回コンクール全国大会	東京・野口英世会館		255名
	12	7	総会	箱根・小湧園		21名
56	9	6	第二回コンクール全国大会	東京・中野公会堂	吟剣詩舞のつどい	88名
	11	12	地区本部長会議	東京・市谷私学会館		
57	9	5	第三回コンクール全国大会	東京・豊島公会堂	ヴォックスの詩定める	
	11	27	総会開催	名古屋サンプラザ		
58	5	3	第一回全国吟詠ゼミナール	名古屋トラック健保会館		105名
	9	25	第四回コンクール全国大会	東京・豊島公会堂		122名
59	8	26	第五回コンクール全国大会	名古屋港湾会館	10人制合吟	148名
	9	6	第一回中国友好公演	北京市民族文化宮礼堂		105名
	12	9	創立五周年記念大会	東京・日本都市センターホール		
60	9	8	第六回コンクール全国大会	東京・豊島公会堂	吟剣詩舞のつどい	99名
61	9	7	第七回コンクール全国大会	東京・豊島公会堂	吟剣詩舞のつどい	103名
62	1	17	第一回ヨーロッパ公演	仏・ニース市アクロポリス会場	ヴォックス 創立八周年記念	
	9	26	執行部会議	東京都勤労福祉会館		
	9	27	第八回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館	吟剣詩舞のつどい	102名
63	9	10	執行部会議	東京都勤労福祉会館		
	9	11	第九回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館		104名
	10	1	第二回中国友好公演	南京大学公会堂	交流大会	
平成元	9	10	第十回コンクール全国大会	熊本市産業文化会館	吟剣詩舞のつどい	111名
	11	12	創立十周年記念大会	東京・中央区立中央会館	チャリティ	
	2	9	第十一回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館	中国民族楽特別公演	106名
	3	9	第十二回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館	吟剣詩舞のつどい	106名
	4	2	執行部会議	有馬・兵衛向陽閣		
	9	6	第十三回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館	名流吟詠会	143名
	5	2	執行部会議	岩国国際観光ホテル		
	4	29	第一回名流吟詠詩舞のつどい	東京・中央区立中央会館		
	9	15	第十四回コンクール全国大会	東大阪市立市民会館	地元協賛吟剣詩舞	139名
6	2	25	執行部会議	戸倉上山田温泉・ホテル清風園		
	4	29	創立十五周年記念大会 第二回名流吟詠詩舞のつどい	豊明市文化センター		
	10	10	第十五回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館		136名
	10	16	第一回アメリカ公演	ロスアンゼルス市・ベニス日系人会館	羅国誠詩吟会と交流	60名
7	2	24	執行部会議	ホテルニューアカオ		
	10	10	第十六回コンクール全国大会 第一回ベスト歌謡吟詠発表	東京都勤労福祉会館	合吟13組	126名

ヴォックス音楽吟詠会 三十年の歩みー2

8	2	23	執行部会議	やさしさの宿・竹亭		
	10	10	第十七回コンクール全国大会	東京都勤労福祉会館	合吟13組	133名
	11	17	第三回名流吟剣詩舞のつどい	シンフォニア岩国		
9	2	14	執行部会議	犬山ホテル		
	10	10	第十八回コンクール全国大会	名古屋港湾会館	合吟12組	130名
10	2	27	総会開催	水戸・茨交大洗ホテル		
	7	26	第四回名流吟剣詩舞のつどい	江戸東京博物館ホール		
	10	10	第十九回コンクール全国大会	スクエア東京	合吟13組	134名
11	2	26	執行部会議	兵庫・赤穂・潮光園		
	10	31	第20回コンクール全国大会	東京・両国公会堂	合吟13組	129名
12	2	25	執行部会議	箱根・湯本ホテル岡田		
	10	9	第21回コンクール全国大会	労働スクエア東京ホール	合吟13組	128名
13	2	23	執行部会議	上野・水月ホテル鷗外荘		
	10	7	第22回コンクール全国大会	労働スクエア東京ホール	合吟12組	128名
	10	22	海外公演・フランス・ エビアン	エビアン国際劇場		22名
	11	23	第5回名流吟剣詩舞の集い	大阪・国際文化交流センターホール		524名
14	2	22	執行部会議	群馬・高崎・錦山荘		
	10	13	第23回コンクール全国大会	労働スクエア東京ホール	合吟11組	122名
15	2	27	執行部会議	横浜コンチネンタルホテル		
	10	12	第24回コンクール全国大会	東京・江戸博物館ホール	合吟12組	123名
	11	27	第6回名流吟剣詩舞の集い	長野市・若里市民文化ホール		485名
16	2	27	執行部会議・本部長会議	名古屋クラウンホテル		
	10	10	第25回コンクール全国大会	東京・江戸博物館ホール	合吟13組	130名
17	2	25	執行部会議	京都・都ホテル		
	10	29	第26回コンクール全国大会	東京・中央区立中央会館	合吟13組	125名
	11	13	創立25周年記念・ 名流吟剣詩舞のつどい	名古屋教育センターホール	ヴォックス音楽吟詠会 と改称	532名
18	2	24	執行部会議	箱根・湯本 かじか荘		25名
	10	15	第27回コンクール全国大会	東京・江戸博物館ホール	合吟13組	125名
19	3	2	執行部会議	名古屋クラウンホテル		27名
	10	8	第28回コンクール全国大会	大阪・リバーサイドホテル大ホール	合吟11組	138名
	11	23	第7回名流吟剣詩舞のつどい	姫路・花の北市民広場		297名
20	2	22	執行部会議	山梨県・石和温泉ホテル糸柳		37名
	10	5	第29回コンクール全国大会	名古屋教育センターホール	合吟9組	123名
21	2	27	執行部会議	名古屋市・クラウンホテル		29名
	10	4	第30回コンクール全国大会	東京・江戸博物館ホール	合吟8組	122名

ヴォックス音楽吟詠会 三十年の歩み



昭和59年1984・9・6
ヴォックスレコード吟詠会
創立5周年記念
日中親善吟詠大会



▲ 昭和62年1987・1・19
フランス・ニース
日仏親善文化交流使節団



昭和62年1987・5.22
ヴォックス吟詠会10周年記念
ヨーロッパ・アンコール公演
現地新聞に掲載



▲ 平成6年1994・10・18
アメリカ・サンフランシスコ
天宮国風先生交流・
創立15周年記念



漢詩の舞台を巡る
白帝吟行の旅
武漢—黄鶴楼
平成9年1997.8.23~30



▲ 平成11年1999・10・22
フランス・エビアン公演



▲ 白帝廟に登る



平成9年1997・8.26
長江の景勝地・三峡下り
くどうきょう ふきょう せいりょうきょう
(瞿塘峡・巫峡・西陵峡)



▲平成18年2006・6.22～28
ヴォックス音楽吟詠会
創立25周年記念
李白故里吟行



▲平成19年2007・11.23
姫路・名流大会は、大盛況でした



▲平成21年度・ヴォックス吟詠コンクール
全国決勝大会・東京・江戸博物館ホール



▲平成19年3月2日
全国執行部会議の翌日観光
岡崎・丈山苑



▲平成21年2月28日
全国執行部会議の翌日観光

総本部事務所

会長・岩淵公胤
東京在住

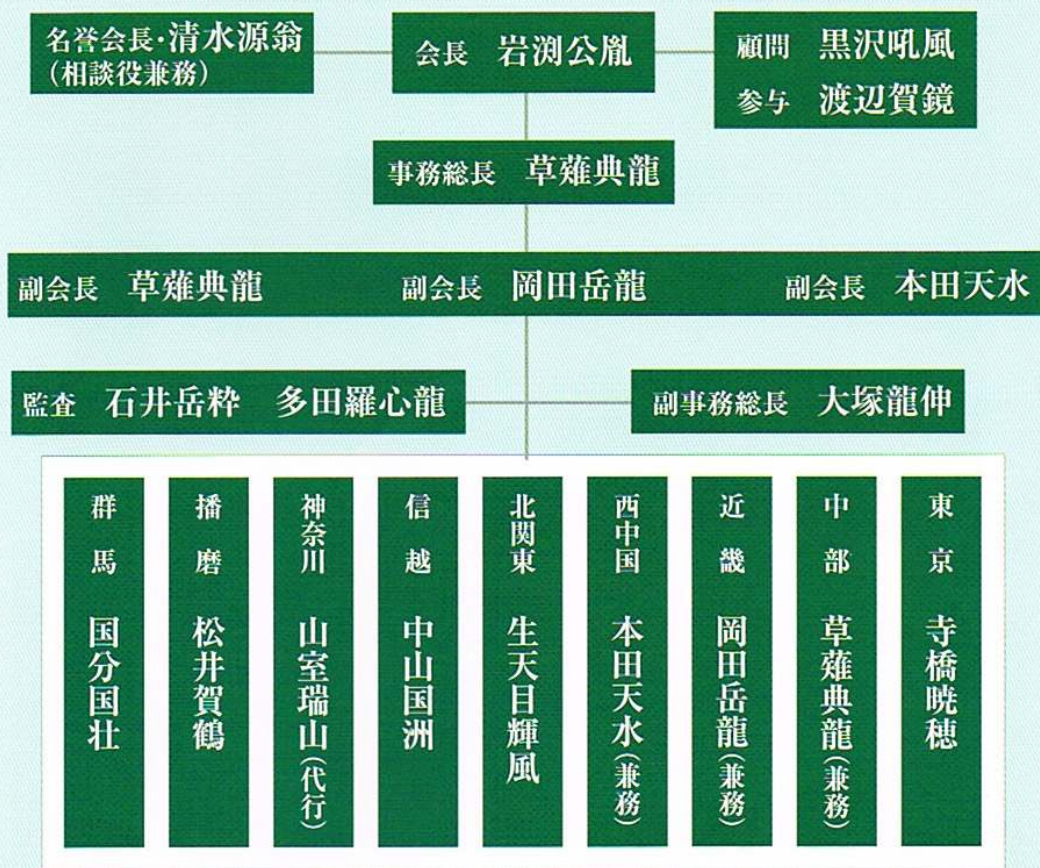
〒456-0031
愛知県名古屋市長熱田区神宮2-2-8
笠井ビル3F
事務総長 草薙典龍
(TEL 052-682-1539)
(FAX 052-682-1549)



入会ご案内

ヴォックス音楽吟詠会は、
創始者の提唱した「芸術吟詠によって現代の荒廃した社会の風潮、人心を甦らせたい」と考えております。入会のお問い合わせは左記にご連絡下さい。

ヴォックス音楽吟詠会組織図



ヴォックス音楽吟詠会

創立三十周年記念祝賀会

◇執行役員◇

名誉会長・相談役 清水源翁

大会顧問 黒沢吼風

大会会長 渡辺賀鏡

副会長 岩淵公胤

副会長 岡田岳龍

副会長 本田天水

大会委員長 草薙典龍

副委員長 生天目輝風

副委員長 国分国壮

副委員長 松井賀鶴

副委員長 中山国洲

副委員長 寺橋暁穂

副委員長 山室瑞山

副委員長 燈本賀求道

副委員長 大塚龍伸

副委員長 小芝誠範

副委員長 一木翔雲

副委員長 谷口神桂

副委員長 谷口松峰

副委員長 加藤心皇

副委員長 荒井恵風

副委員長 佐藤水涛

副委員長 多里光暁

副委員長 兼田光栄

副委員長 井川園楓

副委員長 佐藤聖山

副委員長 三ツ谷静楼